

JAMCA ニュース

The Japan Automobile Maintenance Colleges Association

No. 1

1994年4月1日

発行 全国自動車整備専門学校協会編集委員会

事務局 〒136 東京都江東区亀戸2-28-5

☎03-3685-6761 FAX03-3684-7420

情報交換で協会の向上を

JAMCA ニュースの発刊に寄せて

全国自動車整備専門学校協会会長 小林 典司

全国自動車整備専門学校協会の機関紙として、JAMCAニュースが発刊の運びとなりましたことは誠に慶賀にたえません。

当協会は57校もの学校が加盟している大きな組織であるにもかかわらず、従来、機関紙がなかったため、ややもすれば中央の動きがまったく伝わらず、会員の方々の中には、隔靴搔痒(かっかそうよう)の感を抱いていた向きも少なくなかったかと存じます。

問題解決の一助にしたい

このたび、役員の変替を機に“たてよこのコミュニケーション、を良くし、開かれた組織、民主化された組織を作り上げることが協会の目標に掲げられ、その具体策の表れの一つとして、このたびJAMCAニュースが発刊されることになりました。

教科書価格問題、カリキュラム短縮問題、法人化問題、財務のガラス張り化等々、すでに実行したものもありますが、協会として早急に解決しなければならない問題が山積しており、どのテーマも会員の方々にとっては、最大の関心事であります。これらについて逐一、ニュースを提供する媒体としてJAMCAニュースがあり、今後は、協会内のコミュニケーションが飛躍的に向上するも



のと期待されるだけでなく、協会そのもののイメージアップにも寄与するものと期待しております。

目を外部に向ければ、18歳人口の減少期を控え、専門学校が「冬の時代」を迎えると言われております。さらに、1年半後に迫った「点検、整備」の制度改正にともない、いまままで比較的順調に推移して来た整備専門学校の経営に、激変の嵐が押し寄せる恐れなしとしません。

かかる時に当たり、会員校がいかにしてこの難局に対処すべきか、情報交換を通じて切磋琢磨し、教育の質の更なる向上を図りながら、当協会が大きく発展するために、この媒体が役立つものと期待しております。なお、整備士という仕事は、学校卒業後も世の技術革新に遅れぬよう、不断に研鑽・勉学を続けていかねば

ならない、知的で、そして責任の重い仕事であります。にもかかわらず、社会の受け止め方や処遇は、それにふさわしい評価を受けているとは必ずしも言えないのが実状であります。JAMCAニュースが、そのような誤れるイメージを改善し、整備士のイメージアップに、併せて力を発揮してくれるものと期待しております。

一層の充実にご協力を

今日の発刊に至るまでには、広報委員会の委員の方々に大変なご尽力をいただきましたことを、紙面を借りて厚く御礼申し上げます。

今後は、内容の一層の充実向上に引き続きご尽力賜われることをお願い申し上げますとともに、世間によくある「3号で廃刊」というようなことにならないよう、会員の皆さま方の精神的・物理的ご支援を心からお願いして、JAMCAニュース発刊の言葉といたします。

■ CONTENT ■

- 2面 発刊を祝う
- 3面 北から南から
- 4・5面 自動車各社の採用予定
- 6面 各委員会報告
- 7面 同上続きとお知らせ
- 8面 協会会員校一覧